

せんだいし く
仙台市で暮らす

しょうがい ひと けいかく
障害のある人のための計画

けいかく たいせつ せつめい ばん
計画の大切なところを わかりやすく説明する版

れいわ ねん がつ
令和6年3月

せんだいし
仙台市

この計画について

この計画は 次の3つの計画を 1つにまとめたものです。

① 「仙台市障害者保健福祉計画」

障害のある人 についての

取り組みの方向性を 定めるための 計画

② 「仙台市障害福祉計画」

障害のある人が 福祉サービスなどを 使うための計画

③ 「仙台市障害児福祉計画」

障害のある子どもが 福祉サービスなどを 使うための計画

なぜ この計画をつくるのか？

○ 仙台市で暮らす 障害のある人たちが

ひとりひとりの 障害にあわせて

暮らしやすいと思えるように この計画をつくっています。

○ 障害のある人や 障害のある子どもが ひとりひとりにあった

福祉サービスなどを 使って 安心して生活できるように

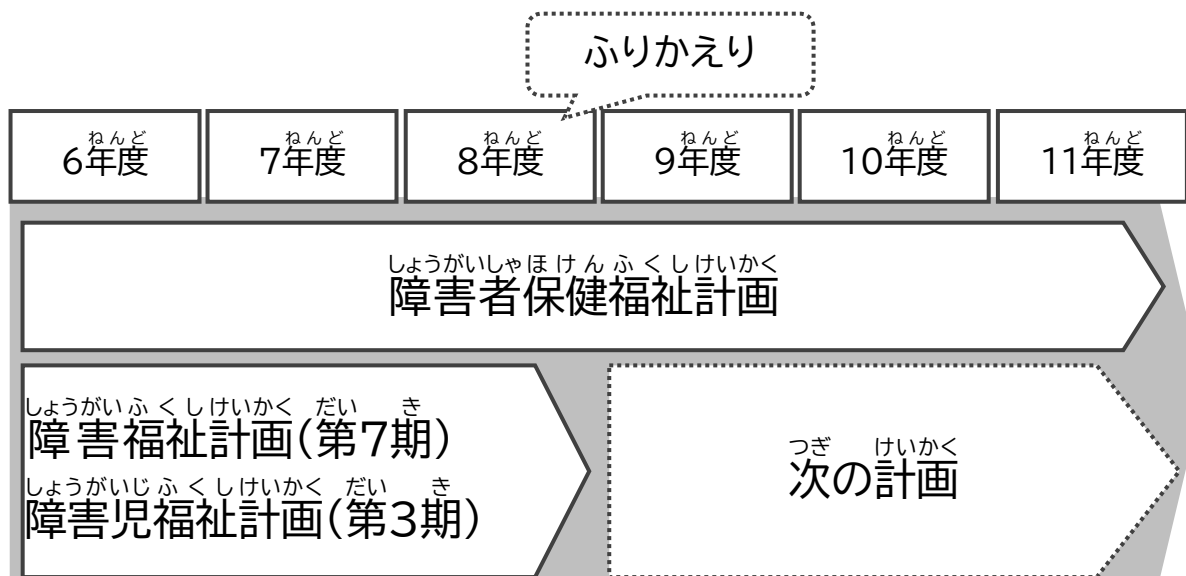
計画をつくっています。

だれのために この^{けいかく}計画をつくるのか？

- この^{けいかく}計画は ^{せんだいし}仙台市で暮らす ^{しょうがい}障害のある人を含む ^{ひと}すべての人のために ^{つくって}つくっています。
- ^{しょうがい}障害者手帳を ^も持っていない人でも ^{こま}困っている人がいれば ^{てだす}手助けしていきます。

いつまで この^{けいかく}計画に^と取り^く組むのか？

- ^{れいわ}令和6年度から ^{れいわ}令和11年度までの ^{ねんかん}6年間 ^と取り^く組んでいきます。
- ^{けいかく}計画をはじめて3年目の ^{ねんめ}令和8年度に ^{なに}何ができて ^{なに}何ができなかったか ^{おこな}ふりかえりを ^な行います。



仙台市には障害のある人はどのくらいいるのか？

◆ 障害者手帳を持っている人数（令和5年3月31日時点）



※2つ以上手帳を持っている人の数も含まれます。

仙台市はどんなまちを目指しているのか？

障害のある人にとっても 障害のない人にとっても
みんなが暮らしやすいまち

○ 平成19年に障害のある人の権利を守るために

「障害者の権利に関する条約」が世界中で

決まりました。日本でもそれを守るために

取り組んでいます。

- 平成^{へいせい}28年^{ねん}に 仙台市^{せんだいし}では 障害^{しょうがい}のある人^{ひと}への差別^{さべつ}を

禁止^{きんし}する 条例^{じょうれい}をつくりました。

令和^{れいわ}5年^{ねん}には 条例^{じょうれい}の見直し^{みなお}をして

差別^{さべつ}を無く^なすための 取り組^{とく}みを進^{すす}めています。

- 仙台市^{せんだいし}は 障害^{しょうがい}のある人^{ひと}も 障害^{しょうがい}のない人^{ひと}も

いっしょ^くになって 暮らし^{おも}やすいと思^{おも}えるような

まち^{めざ}を 目指^{めざ}しています。

- 仙台市^{せんだいし}は これまでもず^{もくひょう}っと この目標^もを持って^もいましたが

これからも大切^{たいせつ}にしていき^{かんが}たいと 考^{かんが}えています。

暮らし^くしやすい^{たいせつ}くなる^{なに}のために 大切^{たいせつ}な^{なに}ことは何か？

- 自分^{じぶん}がやりたい^{たいせつ}ことが できる^{たいせつ}ことや

自分^{じぶん}らしく 生^いきていける^{たいせつ}ことが とても大切^{たいせつ}です。

- いろい^{しょうがい}ろな障害^{しょうがい}のある人^{ひと}や

障害^{しょうがい}や 困^{こま}っている^わことを あまり分^わかってもら^わえず

暮らし^くしにく^いさや 生^いきづら^{かん}さなどを 感^{かん}じる人^{ひと}がいます。

○ ^{ほか} ^{ひと} ^{かんが} ^{かた} ^{たいせつ}
他の人の考え方を大切にすることや

^{こま}
困っているときに ^{たす}
おたがいに助けあえるよう

^と ^く ^{すす} ^{ひつよう}
取り組みを進めていく必要があります。

○ ^{せんだいし} ^{しょうがい} ^{ひと} ^{しょうがい} ^{ひと}
仙台市では障害のある人も障害のない人も

^き ^も ^く
みんなが気持ちよく暮らせるまちを

^{めざ}
みんなで作っていくことを目指しています。

どんなことに ^と ^く 取り組んでいくのか？

① ^{しょうがい} 障害のことをみんなに ^し 知ってもらおうこと

- ^こ 子どもから ^{おとな} 大人まで ^{せんだいし} 仙台市で ^く 暮らす ^{ひと} 人たちに ^{しょうがい} 障害のことを ^し もっと知ってもらいます。
- ^{じぶん} 自分の ^{せいかつ} 生活を ^{じぶん} 自分で ^き 決める ^{けんり} 権利を ^{まも} 守ります。

② ^{しょうがい} 障害のある ^こ 子どもの ^{せいかつ} 生活を ^{てつだ} 手伝えること

- ^{しょうがい} 障害のある ^こ 子どもが ^す いつも ^{ばしょ} 過ごしている ^{ばしょ} 場所で ^{せいかつ} 生活の ^{てつだ} お手伝いを ^{かぞく} したり ^{なや} 家族が ^{なや} 悩んだときに ^{そうだん} 相談 ^{そうだん} できるように ^し します。
- ^{しょうがい} 障害がある ^こ 子どもの ^{せいかつ} 生活をお手伝い ^{てつだ} するための ^と ^く 取り組み ^と ^く を ^し します。

③ 地域ちいきで暮くらすことができるように手て伝つだうこと

- 障害しょうがいのある人ひとが 自分じぶんが住すみたい地域ちいきで

暮くらせるように ひとりひとりの

障害しょうがいにあわせて 相談そうだんができるようにします。

- 障害しょうがいのある人ひとの 生活せいかつをお手て伝つだいするための

と 取とり組くみをします。

④ 自分じぶんらしく活かつ動どうや仕し事ごとができるようにすること

- みんなが 働はたらきたいところで 働はたらけるような

と 取とり組くみをします。

- スポーすツぽー 趣しゅ味み 音おん楽がく 絵かい画がなどの活かつ動どうが

もたっと楽たのしめしめる 機き会かいをつくります。

⑤ 安あん心しんして生せい活かつできるよように施し設せつななどをつつくくること

- いろいいろろな 障しょう害がいにああわわせせて 使つかいいややすすい 施し設せつや

通かううここががででききる 施し設せつをつつくくっってていいききまます。

しょうがいふくしけいかく しょうがいじふくしけいかく 障害福祉計画・障害児福祉計画で めざ 目指していること

- 施設で生活している人が 施設から出て
家やグループホームなどで 生活できるようにします。
- いろいろな障害のある人が
年をとったりしても 自分が住みたい地域で
安心して 生活できるように 生活をお手伝いする
しくみづくりを 進めます。
- 福祉施設で働いている 障害のある人が
会社などで働くための お手伝いをします。
また 会社などで働いている 障害のある人が
働き続けられるための お手伝いや
お手伝いするしくみを つくります。
- 障害のある子どもの 生活をお手伝いするため
幼稚園や保育所 学校や病院や福祉施設などが
力をあわせる しくみをつくります。

- いろいろな ^{しょうがい} 障害のある子どもが
^{かよ} 通える施設の ^{かくほ} 確保を ^{めざ} 目指します。

- いつも ^{いしや} お医者さんや ^{かんごし} 看護師さんの ^{てだす} 手助けがいる
^{しょうがい} 障害のある人についても ^{ひと} 同じように ^{おな}
^{せいかつ} 生活をお手伝い ^{てつだ} します。

- ^{しょうがい} 障害のある子どもが ^こ 大人になるときに ^{おとな}
^{つか} 使うサービスを ^{えら} 選ぶお手伝いをするための
しくみをつくり ^{てつだ} ます。

- ^{こま} 困ったことがあった ^{とき} 時に ^{しょうがい} 障害のある人 ^{ひと} や
^{かぞく} その家族が ^{そうだん} 相談しやすくなるように ^{てつだ} します。

- ^{しょうがい} 障害のある人 ^{ひと} や ^{しょうがい} 障害のある子ども ^こ が
^よ より良い福祉サービス ^う を受けられるように ^{てつだ} します。

どのように ^と ^く 取り組んでいくのか？

- ^{しょうがい} 障害のある人^{ひと}や ^{ひと} その人といっしょのまちに^く暮らしている人^{ひと}などと
^{ちから}力をあわせて ^{けいかく} 計画^{すす}を進めていきます。
 - いろいろな^{しょうがい} 障害のある人^{ひと}に ^{けいかく} 計画^しをお知らせするために
^{てんじ} 点字や ^{おんせい} 音声^{つか}を使うなど ^{ほうほう} わかりやすい方法^{けいかく}で 計画^{はな}をつくりま^きす。
 - ^{せんだい} 仙台市^{しょうがい} 障害者^{しゃせ} 施策^{さくすい} 推進^{しんきょうぎ} 協議会^{かい} (※)で ^{はな} 話しあ^きったり
^{しょうがい} 障害のある人^{ひと}や ^{かぞく} その家族^{はなし}などから 話^きを聞いたりしながら
^{けいかく} 計画^{すす}がどれくらい進んでいるかを ^{かくにん} 確認^{すす}していきま^きす。
- ※ ^{しょうがい} 障害^{ひと}にくわしい人^{しょうがい} や 障害^{ひと}のある人^{しょうがい} や 障害^{ひと}のある人^{ひと}を
^{てだす} 手助け^{ひと}している人^{あつ}たちが ^{はな} 集^あまって話^ばし合^あいする場



仙台市障害理解促進キャラクタ
「ココロシ」

れいわ ねん がつ
令和6年3月

へんしゅう はっこう せんたいしけんこうふくしきょくしょうがいふくしぶしょうがいきかくか
編集・発行／仙台市健康福祉局障害福祉部障害企画課

せんたいしあおばくこくぶんちょうさんちょうめ ばん ごう
仙台市青葉区国分町三丁目7番1号

でんわばんごう
電話番号 022-214-8163

ふあつくす
FAX 022-223-3573

いーめーる
E-mail fuk005330@city.sendai.jp